

末永会長を再任

県総合計画審議会

県は29日、青森市の青森国際ホテルで県総合計画審議会を開いた。2年の委員任期満了に伴い、三村申吾知事が新委員13人を含む31委員に委嘱状を交付した。審議会は会長に青森地域社

月に再処理工場の完工延期を決めたと説明し「基本的に想定以上の大きな耐震工事はないだろう。(完工時期は)目標としている18年度上期でしっかりやっていると「思う」との認識を示した。

東日本大震災から5年が経過することには「完工時期が延びていることは地域の皆様の期待に添えず、本当に心苦しい。福島第1原発事故の教訓を忘れず、安全第一で計画的な完工を達成したい」と述べた。

(阿部泰起)

交渉締結を目指す第15回会合をブリュッセルで開いた。今年初の交渉会合で、3月4日までの日程。双方は年内の合意達成に向けて進展を図る。交渉は関税面

会研究所特別顧問の末永洋一氏を再任した。

三村知事は「未来を変える意思を持って施策を強化していく。委員には忌憚のない意見を出してほしい」とあいさつ。会長3期目の



三村知事から委嘱状を受け取る委員

末永氏は「知事の施策を戦略に反映させていきたい」と応じた。会長職務代理者には佐藤敬弘前大学長が就任した。

審議会は14年度からスタートした県基本計画「未来を変える挑戦」の進捗度合いをチェックするほか、今年夏にも知事あての提言をまとめる。

(福土和久)